

ぐりふぁん letter



Vol.
31
2016.2

INDEX

- ◆ 上鳥羽北部いきいきおひさまプロジェクトが始まります！ …… 2
- ◆ 「わかば・かんきょうきょうしつ」について …… 3
次のおひさま発電所は…… かわいい子にはおひさま発電所！
- ◆ 2015年度環境学習 めざせ！省エネ！エコ保育園！ …… 4
～園長先生と職員みんなで楽しく知恵出し
陵ヶ岡保育園 省エネワークショップの感想
- ◆ COP21の成功を後押ししたグローバルな市民の活動 …… 5
- ◆ 市民・地域共同発電所全国フォーラム2015 小田原大会 報告 …… 6
市民共同発電所づくりから思うこと
- ◆ TOPIX 電力を選んで自然エネルギー にパワ シフトしよう！ …… 7
会員さん、こんにちは！
編集後記

認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)

きょうとグリーンファンド



上鳥羽北部 いきいきおひさまプロジェクト が始まります！

京都市中唐戸児童館運営委員会
委員長 前川 勝六

中唐戸児童館運営委員会は昭和54年10月設立以来、地域の子ども、保護者、住人と共に地域に根差した児童館運営を進めてまいりました。

この度、子どもたちが身近に「自然エネルギー」に興味を持ってもらい、それを通して普及と環境活動を地域に広げるため「京都市太陽光発電屋根貸し制度」に沿って上鳥羽北部いきいき市民活動センター屋上に「太陽光発電所」を設置することになりました。

近年化石燃料による地球温暖化が環境問題にとりあげられています。子どもたち、住人に「太陽光発電所」を自然エネルギーの学びの場として提供してまいります。

今後も地域とともに多様なニーズに的確に対応できる運営を心掛けたいと考えています。



夏の夜市のエコステーション

京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター
センター長 高橋 清司

上鳥羽北部いきいき市民活動センターも開所から5年目を迎えました。

昨年の「上鳥羽夏の夜市」ではリユース食器の採用とエコステーションを設置してゴミ分別を実施、「クリスマス集い」ではエコ教室を開催、またグリーンカーテン講習やクールシェアスポット等の環境に対する取り組みを積極的に推進してまいりました。

近年の地球温暖化を起因とした異常気象による災害が多発する状況を目の当たりにして、当センターに地域の防災拠点および避難所としての設備を整える必要性を

痛感すると共に、環境保全の重要性を再認識いたしました。

上鳥羽北部いきいき市民活動センターが、地域の皆様と共に「環境にやさしい上鳥羽」を目指すため、まずは太陽光発電の設置から取り組んでまいります。



いきセンのグリーンカーテン

上鳥羽北部にある「いきいき市民活動センター」に設備を設置するおひさまプロジェクトが始まることになりました。いきいき市民活動センター（以下いきセン）は、市民活動を支援するためのセンターで、京都市内に13カ所あります。上鳥羽北部地域にあるいきセンは、建物は京都市所有で、「中唐戸児童館運営委員会（以下運営委員会）」が指定管理者として、市民活動活性化事業をすすめ、施設管理も担っています。

今回のおひさまプロジェクトは、いきセンから建物の屋上に太陽光発電ができないか、とご相談を受けたのが始まりです。運営委員会は自治連合会や社会福祉協議会、自主防災会、あんしん・あんぜん上鳥羽推進委員会など、地域の各種団体で構成されています。夏祭りやお餅つきなど地域の活動を一緒に進めていくうちに、地域の役に立ち、未来に何か残るものを作りたい、ということになったそうです。エコ学区の取り組みもあり、昨年からいきセンでもエコ活動を始め、きょうとグリーンファンドもお手伝いをしました。

きょうとグリーンファンドの活動も16年目となりましたが、このような地域の方々とおひさまプロジェクトを進めるのは、初めてです。また、京都市所有の建物への設置も初めてで、これについては、「京都市太陽光発電屋根貸し制度」の運営主体として、きょうとグリーンファンドが応募し、認められたことで実現しました。

いきセンは災害があった時には、避難場所にもなることが想定されています。現に上鳥羽北部いきセンでも、過去に避難をされた方がおられたとか。そのような避難施設に太陽光発電が設置されていれば、災害時に役立つことがありそうです。

今回のおひさまプロジェクトは、自治体所有の建物であることと、地域の方々を中心となって進めようとしていること、そして京都市の制度にも何とか合致したことで実現しました。先日の学習会では地域のみなさんがそろって参加して下さり、「環境にやさしい上鳥羽」にする第一歩としておひさまプロジェクトを進めよう、という熱い思いが感じられ、それが、お手伝いする私たちにとって何よりうれしいことでした。この地域に、次のおひさま発電所が完成する日も、そう遠くないと思われます。

（きょうとグリーンファンド 大西 啓子）

「わかば・かんきょうきょうしつ」について

国際ソロプチミスト京都-わかば 奉仕プログラム委員会
委員長 藤田 彩子

国際ソロプチミストとは、国連の諮問機関として承認されている世界的な女性会員の奉仕団体です。京都市内には11のクラブがあり、女性と女児の生活向上の為に国内外で多岐にわたり奉仕活動を行っています。

私たち 国際ソロプチミスト京都 わかばは、環境破壊や地球温暖化を防止する為の啓蒙活動をするには幼少時からの環境教育が必要と考え、きょうとグリーンファンドさんのご協力のもと、「わかば・かんきょうきょうしつ」を2006年度より開催しています。これは、子どもたちに地球環境の現状を伝えると共に、自分でできる取り組みを学び、自分たちの手で地球を守る人材を育てるためのプロジェクトです。これまでに、京都市内の環境問題に積極的に取り組んでいる幼稚園、保育園を選定し、実施してきました。これらの園では、太陽光発電の設置等の環境保全や自然観察会を行ったり、自然に触れ楽しむ等の活動をされています。「わかば・かんきょうきょうしつ」のプログラムとしては、環境人形劇、環境紙芝居、どんぐりの苗木の育成、環境復話術などを通して子ども達と学習してきました。

園児たちが、CO2などの難しい言葉をすぐに理解したり、環境問題に対する反応の速さに驚いています。「わかば・かんきょうきょうしつ」を行った園では、園児たちが率先して、水を大切に使う、電気を消す、緑を大切にする、洗剤の使用料を減らすなど環境保護への取り組みを行うようになったと伺っています。また「アクリルたわし」を園児にプレゼントし、洗剤をつけずに洗いましょうとお話しています。

昨年11月5日に開催致しました「わかば・かんきょうきょうしつ」は18回目を迎えました。当日の自然観察会では、好天气に恵まれた中、園児と共にわかばの会員も自然を満喫し、自然観察で植物や虫や動物といった色々な生き物と人間が共存していることを再確認致しました。楽しく学びながら、実践できるこの「わかば・かんきょうきょうしつ」をこれからも続け、子どもたちと共に学んでいきたいと思えます。



次のおひさま発電所は・・・かわいい子にはおひさま発電所！

(株) Cheerコーポレーション 小規模保育園Cherry's Hug東向日園
西村 日登美

Cherry's Hug東向日園は、0～2歳児を対象とし、定員12名という、とても小さな保育園です。小さいといっても、向日市から認可を受け運営する認可保育所で、「小規模保育園」という種別になります。これは、待機児童問題がクローズアップされる中、その最も深刻度が高い0～2歳児への対策としてできた新しい保育施設の形態です。3歳児なら保育士さん1人が20人まで預かることができますが、0歳児なら3人まで。つまり、0～2歳児は手厚い保育が必要となり狭き門になってしまうのです。この課題を解決するために、保育の質に関わる規定はそのまま、建物の規定を緩やかにした小規模保育園という制度が誕生しました。今回、おひさま発電所に手を挙げさせていただいたCherry's Hugは、阪急東向日駅のすぐそばの静かな住宅街の一角にある一戸建て。現在、かわいい保育園にリノベーション中です。Cherry's Hugは、既に長岡京市内で1園運営しており、東向日園で2園目です。また私たちは、それ以前から、地域の子育て支援を担う団体として、親子教室や地域子育て支援拠点・ママカフェなどを運営しており、子育て中のお母さんたちのニーズをしっかりと吸い上げて形にしています。だからCherry's Hugは、単に待機児童の解消というだけでなく、「幼い我が子をここなら託したい」と思っていただけ、最も質の高い保育園であることを目指しています。

ですから、2園目の東向日園の開園に際しては、「保育の質向上だけでなく、環境に優しい保育園」との思いがありました。そんな時、きょうとグリーンファンド様のHPを拝見し、「向日市の保育園で、初めてのおひさま発電所

になりたい！」との思いが膨らみました。ただし、資金面で厳しい私たちですから、多くの方のご支援をいただけてこそかなう夢です。

Cherry's Hugが、「おひさまの恵をたっぷりいただいた、明るく温かい保育園」になることができれば、それこそが、地域の人たちに支えられ誕生した理想の保育園でしょう！Cherry's Hugの屋根に、おひさま発電所のパネルがキラキラ輝く姿を、ワクワクしながら思い描いています。





～めざせ！省エネ！エコ保育園！～

園長先生と職員みんなで楽しく知恵出し

きょうとグリーンファンド理事

中田 利享

きょうとグリーンファンドでは “おひさま発電所” が設置された事業所で行われる環境学習を年間計画のもと支援しています。

今回は設置後10年となった京都市山科区にあります「陵ヶ岡保育園」での省エネワークショップです。中村園長先生とほぼ全員の職員の皆さんが集まり省エネについて少し学んで、電気・ガス、水、ごみについて節約するため知恵出しゲームを楽しく実行されました。



実施にあたりグリファン内で省エネサポートチームを編成、エコに熱心で実績も多い陵ヶ岡保育園での進め方を検討しました。

- ・ “日常活動から始める省エネへの取り組み” をテーマとし、ねらいを明確にする。
- ・ 「電気・ガス」、「水」、「ごみ」に着目し、三チーム分かれて現状を調べ、節約のアイデアを楽しく話し合い競って出しあう。
- ・ 話し合った結果は発表してもらい、質疑を十分に行い理解を深め、実行するためのアドバイスも行い全員で共有する。

当日は設置後10周年の感謝状を贈呈して、いよいよ園長先生の“取り組み宣言”を頂きスタートしました。グリファンのサポーターから取り組みのアドバイスとしてP D C Aのサイクルを回すことの大切さと改善のアイデアを出すとき、8つの視点（やめる・とめる・さげる・つめる・なおす・かえす・ひろう・はずす）が役立つことをちょっぴり学習しました。

アイデアは次々と出され、まとめ役さんも超多忙となり発表も質問も活発に行われました。講評の時間が無くなるほどやる気満々で、時間切れで終了となりました。

後日、参加職員の21名から「環境学習ふりかえりシート」が届けられ省エネサポートチームは大感激。すべての方々に感謝と実行への期待をこめて返信させて頂きました。右は参加者のふりかえりシートから一部を抜粋したものです。フォローアップ研修の企画で取組後の成果を楽しみにさせて頂き、感謝のレポートとします。

《ふりかえりシートからのキーワード、キーフレーズ》

- Aさん： 例えばティッシュ・取り出しにくい、サイズをもう半分にする。
（子どもが使いやすいサイズになるとの合理性まで言及しているのはGood!）
- Bさん： 具体的に考えることで…小さな、大きな省エネになる
- Cさん： 話し合ったことが無駄にならないようにP D C Aを大切に…
- Dさん： 他のチームのアイデアも考えさせられること多く、皆で話し合いながら楽しく見直すことが出来て良かった。
- Eさん： 日頃から出来ることがこんなに多くあると気付く。
- Fさん： 口頭だけで「こうしてどう」は段々とうすれていく。掲示などで誰でもわかるようにする。
- Gさん： 環境のためにも購入する時必要か必要ないかじっくりと考えていきたい。

陵ヶ岡保育園 省エネワークショップの感想

初めてのワークショップでしたので、始める前は、どんなふうになるのか見当もつかず少し不安でしたが、まったくの杞憂でした。先生方は、すぐに「園でできる省エネ」の意図を理解され、チームワークよくどんどん意見を出し合い、日々の園の生活での省エネの取り組みがたくさん提案されました。

画用紙の切れ端を一か所に集めておいて再利用する。ティッシュペーパーの箱を半分にして使う。（子どもたちは小さいので半分で十分なのだそうです）等々。

さすがにプロフェッショナル、子どもたちに結び付いた実現可能な取り組みが之と思いました。 （きょうとグリーンファンド 山本 照美）

COP21の成功を後押ししたグローバルな市民の活動

認定NPO法人気候ネットワーク

伊与田 昌慶

2015年11～12月、国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）パリ会議が開催されました。この会議に私も参加し、化石燃料の時代の終わりを告げる、法的拘束力ある「パリ協定」の合意を見守りました。COP21の成功を促した市民の活動について、その一部を紹介します。

COP21に先立って世界気候マーチに約80万人が参加

気候変動の社会的関心を高めるため、そしてパリでの合意実現を促すため、グローバルな市民運動が展開されました。世界100ヶ国、950団体からなるNGOネットワーク「気候行動ネットワーク（Climate Action Network：CAN）」やそのメンバーなどは「世界気候マーチ」の参加を呼びかけました。日本で開催された「アースパレード2015」もそのひとつです。COP21開催前には世界中で約80万人もの人が気候マーチに参加し、道を歩きました。COP開催地であるフランスのパリでは、直前の同時多発テロの影響でマーチは中止されてしまいました。しかし、2万2000足の靴をパリ市内の広場に並べて、「私たちがパリ合意を求めて行進する」という意思を示しました。このような活動や関連報道によって、気候をまもうという気運はかつてなく高まりました。

COP21パリ会議に参加したNGOのメッセージ

COP21には、環境NGOのメンバーも多数参加し、様々なメッセージを発信しました。そのひとつは、工業化前からの地球平均気温上昇を1.5℃未満にしようというものです。最も温暖化の悪影響に弱い立場にある貧しい人々は、ほとんど温室効果ガスを排出していません。また、このまま温暖化が進行すれば国自体の存続が危うくなる小さな島の途上国もあります。気候変動は単なる環境問題ではなく、人権や貧困・格差、社会正義の問題でもあるのです。そのような認識から、NGOは1.5℃未満という目標を強くプッシュしました。結果、パリ協定の中に1.5℃という数字も盛り込まれました。

また、途上国における石炭火力発電所建設プロジェクトを批判するアクションが行われているのを目にしました。石炭火力発電は天然ガスのそれと比べても2倍のCO2を出しますし、発電所建設に際して現地では人権侵害も発生しています。「石炭ではなく自然エネルギー100%へ！」というパフォーマンスが会議場で行われていました。このような事業を支援している日本政府や国際協力銀行は、ただちにその方針を改めるべきでしょう。

「パリ協定」合意！自然エネルギー100%の未来へ、世紀の大競争がはじまった

パリ協定は、画期的な合意ですが、それ自体では危険な温暖化を防ぐことはできません。この合意をもとに、私たち市民、ビジネス、各地域・各国の政府が行動をとることで初めて気候をまもることができます。パリ協定にある「温室効果ガス排出を実質ゼロにする」ということは、化石燃料利用をゼロにしていこうということです。社会的コストの高い原子力は、温暖化対策の役にも立ちません。パリ協定の中身を見れば、再生可能エネルギー100%の未来に向けた競争が始まったのだと思うわけです。実際、すでにスタートダッシュをかけている自治体、企業は多くあります。

最後に、国連気候変動枠組条約事務局長のフィゲレス氏がCOP21成功に尽力した全ての人に向けた感謝状を紹介します。きょうとグリーンファンドやそのサポーターのみなさんに向けたメッセージでもあると思うからです。

クリスティアナ・フィゲレスから、COP21の成功に尽力したすべての人への公開感謝状

歩いた方たちへ、祈った方たちへ、早くから行動した方たちへ、

こんなに長い間、こんなに一生懸命に、今も昔も活動してきた、この世界の、すべての人々、何百万もの市民へ、私は申し上げます。

「これは、みなさんの成功です」

みなさんそれぞれひとりひとりの成功でもありますが、もったいなく、団結して活動してきた私たち全員の成功なのです。

これは、決定的で、歴史的な転換点です。

私たちは、最も困難な課題を解決するために集結しました。

私たちが共有しているもの、ともに打ち立てるべき未来のため、行動し、パリで合意に導いたのです。

この重要な前進を祝っている間も、私たちは忘れないでしょう。

この旅はまだ続いており、後戻りできるものではありません。

私たち人類が、そしてこれまでに述べたすべての工芸者が1.5℃・2℃未満という目標のために全力を尽くすことが、これからも必要になるでしょう。

私たちがなら、できます。

(抄訳：伊与田)



市民共同発電所づくりから思うこと



特定非営利活動法人サークルおてんとさん
一般社団法人地域未来エネルギー奈良

清水 順子

◆市民・地域共同発電所全国フォーラムから見える全国のおごき

2015年11月13日～14日、8回目となる「市民・地域共同発電所全国フォーラム2015」が小田原市民公民会館にて開催されました。全国から2日間でのべ600人が参加し、1日目に開催された4分科会（①里山資源のエネルギー利用と地域活性化②未来につなげる“仕事”と“ひと”③電力自由化時代の市民電力・発電所の課題④再生可能エネルギーの地域での活かし方）とも立ち見が出るほどでした。どの分科会でも出る言葉は「地域活性化」「電力自由化」「木質バイオマスによる熱利用」。FIT制度の太陽光発電の電力買取価格低下の中、私は太陽光市民共同発電所の展開をあきらめかけていました。しかし、全国で市民共同発電所は800基に達したといい、地域で再生可能エネルギーを導入し、安全で安心な地域分散型のエネルギーを生み出していくことをめざしている積極



市民・地域共同発電所全国フォーラム 全体会の様子



市民・地域共同発電所全国フォーラム 第3分科会の様子

的な仲間の存在を確認できました。フォーラムでの報告は、小田原の鈴鹿かまぼこなど地元商工会などの企業と自治体が一緒になって再生可能エネルギー推進を進めるなど、規模も資金も大きくなりNPOの域を超えて会社組織や一般社団法人などの報告が中心になっていました。それだけ大規模ということは調達する資金も巨額になります。自分のリスクの負い方など奈良での今後のあり方を考えながら帰ってきました。以前お聞きしていた「FIT制度に惑わされずにできることをすればよい」という大西さんのスタンスが、今の私にははしっかりくるように感じています。

◆奈良の動き

2004年にきょうとグリーンファンドさんの多大な協力を得て、サークルおてんとさんが奈良で初めて寄付と補助金で特別養護老人ホームあすなら苑に20kWの太陽光市民共同発電所を設置してからもう12年が経とうとしています。その後、2号機10kW（高齢者グループホームならのは）、3号機10kW（あすなら保育園）とも寄付と補助金で設置し、4号機あすなら苑には初めて建設協力金と自己資金でFIT制度を利用した市民共同発電所10.08kWを設置しました。FIT制度の導入に伴い、寄付はもう集めにくいと思い、『出資型』の手法を模索し、気候ネットワークなど京都のみなさまのお力をお借りして、おてんとさんとは別の組織「一般社団法人地域未来エネルギー奈良」を2013年12月に設立しました。地域未来エネルギー奈良は、信託会社による市民ファンドの資金でならコープ本部（奈良市）屋根を借りて恋の窪未来発電所（49.6kW）を2014年5月末に設置しました。売電収入から借入金返済していきます。地域未来エネルギー奈良では幅広い年齢のメンバーと地元信用金庫の方が理事であり、次世代につないでいこうと思っています。



つくばね発電所建設現場見学の様子 主催：サークルおてんとさん

現在、地球環境基金助成事業として、再エネ研究会、自然エネルギー学校なら、ならエネルギーフォーラムを開催し、行政とともに情報共有を重ね、地域への再エネ導入支援活動（水車プロジェクトや木質バイオマス熱利用などの検討）なども進めています。森林に覆われる奈良県は、森林を地域の資源として熱も含めて利用していくことが再エネ普及のカギを握ると言われていることから、今年度は木質バイオマスを中心に自然エネルギー学校ならを運営してきました。また、ならコープの支援を受けた会社では、地域未来エネルギー奈良の理事の一人も中心となって進める「東吉野つくばね（小水力）発電所（82kW）」でも、クラウドファンディングによる資金を一部調達し、2016年春の完成を目指して工事を進めています。ならコープでは、『コープエナジーなら』を設立し、自施設の屋根に太陽光発電を設置し、将来は組合員向けの小売電気事業者になることも目指しています。それぞれの組織が、得意な分野でできることを展開し、奈良県内でそして全国でも再エネが普及することを願っています。



研究会「クラウドファンディング」の様子 主催：地域未来エネルギー奈良

2016年4月から電力小売全面自由化が始まります。これによって誰でも電気を「つくれる」・「売れる」・「選べる」ようになります。東日本大震災の影響を受けて、料金規制と地域独占によって実現しようとしてきた「安定的な電力供給」を、国民に開かれた電力システムの下で、事業者や需要家の「選択」や「競争」を通じた創意工夫によって実現する方向に見直しを行う「電力システム改革」を進めていくことになりました。2020年頃には料金規制の撤廃と発送電分離の実施が予定されています。

4月からのスタートに向けた準備として、この1月から電力会社の切り替えの事前予約(スイッチング)が始まります。切り替えにあたっては、新しく契約したい電力会社に申し込みをすれば、後は新電力会社から広域機関を仲介して現電力会社との契約解約と託送異動(新会社が現小売の送電網を利用して電力を届ける手続き)の連絡・承諾が行われます。これらの手続きの後、スマートメーターの取付けが行われ、4月以降の最初の検診日から切り替えとなります。

どんな電力会社を選べばいいのか?という質問をよく受けますが、気候ネットワーク、きょうとグリーンファンドも参加している「パワーシフト・キャンペーン」(<http://www.power-shift.org>)では、

- (1) 電源構成や環境負荷、などの情報を一般消費者に開示していること。
- (2) 再生可能エネルギーの発電設備(FITをふくむ)からの調達を中心とすること。
- (3) 原子力発電所や石炭火力発電所からの調達はしないこと(常時バックアップ分は除く)。
- (4) 地域や市民による再生可能エネルギー発電設備を重視している。
- (5) 大手電力会社と資本関係がないこと。の5つを条件にしてHPで自然エネルギー供給を目指す電力会社の紹介を行っていますので、電力会社を選ぶ参考にして下さい。

会社さん、こんにちは!

◆いきいき市民活動センターのイベントで「わくわく発電あそび」を開催

平成27年12月19日(土)伏見区の上鳥羽北部いきいき市民活動センターで「ハッピークリスマス」イベントが開催されました。この施設では太陽光発電設備設置の計画が進行中なので、今回のイベントを機会に太陽光発電をもっと身近に親しんで頂こうと「わくわく発電あそびコーナー」を設け、太陽光発電と、幾つかの自然エネルギー発電モデルを展示しました。

児童館のイベントが終わると、好奇心いっぱいの顔つきをした子どもたちが次々とやってきて、会場のあちらこちらが発電に挑戦する子どもたちで一杯です。太陽光発電では、布でソーラーパネルを覆うとLEDが消灯するのを発見した子どもが得意げに布を操って、LEDを点けたり消したりを繰り返していました。

手回し発電機でトーマス号列車を走らせ、電気自動車ゲームでは自分で作った電気を蓄え、蓄えた電気で小さな自動車を走らせる競争をしました。沢山の電気を作るためには沢山の力(エネルギー)が要る、作った電気は蓄える事が出来るのに気付いた様子です。

子どもたちと、いきセン職員、きょうとグリーンファンドのスタッフ達とが発電体験遊びをしながら会話をし、みんなが笑顔で楽しんでいる様子を見て、展示のねらいやスタッフの思いが子どもたちに伝わっているのを感じた一日でした。

・・・天野 光雄 さん



編集後記

・4月からの電力自由化で、私たちが電気が選べます。原発の電気は使いたくない!でも、再エネの絶対量はそんなに多くありません。もっと再エネ、もっと省エネだと改めて思います。(K.O)

・穏やかな気候の年明けでしたが、急に寒くなる寒波に震えあがり、いつもの年なら当たり前の寒さも身にこたえてしまうのは歳のせい?(YF)

・事務局に入らせていただいて10か月、まだまだ一通りの仕事もできていません。今度の上鳥羽北部いきいきセンターの「おひさま発電所」でやっとデビューします。ちょっとワクワクしています。(T.Ya)

・「電気を選ぶ」 私たちに新しい権利が与えられました。どういう選択をするかが問われています。じっくり考えて賢い選択をしたいものです。(S.K)

・丸川環境大臣が新聞記者の質疑応答に「ライフスタイルを変えていくというのは、それを言い続けていくことが、私たちの仕事だと思っています。」とありますが、予算に反映してもらいたいものですね!(T.Yo)

《 ぐりふあん日誌 》

- | | | |
|-------|-------|--|
| 2015年 | 10/8 | 上鳥羽北部いきいきおひさまプロジェクト協議
:上鳥羽北部いきいき |
| 6/30 | | 再生可能エネルギーWG会議出席 |
| 7/4 | | こがねい市民発電 佐野哲也さん来室、ヒアリング |
| 7/7 | | 上鳥羽北部いきいきプロジェクト打ち合わせ |
| 7/8 | | 松岡憲司さん来室(次期理事長就任の件) |
| 7/9 | | 上鳥羽北部いきいきの太陽光発電設置について協議
:上鳥羽北部いきいき |
| 7/13 | | GPN総会出席 |
| 7/22 | | 春日野園を訪問(感謝状贈呈) |
| 7/23 | | 京都府環境審議会再導入等促進プロジェクト委員会出席 |
| 7/25 | | 上鳥羽夏の夜市出展 |
| 8/5 | | 京都府地球温暖化防止活動推進連絡調整会議出席 |
| 8/7 | | 再生可能エネルギーWG会議出席 |
| 8/19 | | 京都新聞取材 |
| 8/22 | | 世光福祉会 中西昌哉さん来室 |
| 8/25 | | 上鳥羽いきいきの太陽光発電設置について会議 |
| 8/26 | | 京都府環境審議会再導入等促進プロジェクト委員会出席 |
| 8/30 | | 上鳥羽北部いきいきケルがッ出展:上鳥羽北部いきいき |
| 9/8 | | 第106回理事会 |
| 9/11 | | ミナワタシ講演会参加 |
| 9/14 | | GPN幹事会出席 |
| 9/15 | | 多文化共生セキキョウト(事務所シェア団体)転出 |
| 9/16 | | 環境腹話術、発電所見学会:大宮保育園
再生可能エネルギーWG会議出席 |
| 9/18 | | 堀瑞希さん(京都女子大学)来室、ヒアリング
上鳥羽北部いきいき高橋さん来室、打ち合わせ |
| 9/29 | | (株)シェアリングマネージメントサービス大浦さん、木田さん来室 |
| 9/30 | | 京都府再生可能エネルギー導入等の促進に関する条例説明
会出席 |
| 10/7 | | 環境腹話術:かがやき保育園 |
| | 10/13 | NPO法人いんふあんとroomさくらんぼ西村日登美さん来室 |
| | 10/22 | 自然観察会:つし保育園 |
| | 10/28 | 環境腹話術、発電所見学会:妙林苑 |
| | 10/28 | 第107回理事会 |
| | 11/4 | 京都府再生可能エネルギー導入等支援事業の登録団体
として登録 |
| | 11/5 | 自然観察会:妙林苑(上賀茂試験地) |
| | 11/10 | NPO法人いんふあんとroomさくらんぼ 現地調査 |
| | 11/12 | 自然観察会:大宮保育園(京都御苑) |
| | 11/16 | 京都府環境審議会再導入等促進プロジェクト委員会出席 |
| | 11/18 | 環境腹話術(つし保育園) |
| | 11/19 | 上鳥羽北部いきいきプロジェクト打ち合わせ:上鳥羽北部いきいき |
| | 11/29 | アワード 2015参加 |
| | 11/30 | 上鳥羽北部いきいきプロジェクト打ち合わせ:上鳥羽北部いきいき |
| | 12/9 | 三井住友銀行プロジェクト基金助成採択 |
| | 12/11 | 韓国聖公会大学院生ヒアリング |
| | 12/15 | 損保ジャパン日本興亜環境財団環境保全プロジェクト助
成金採択 |
| | 12/19 | 上鳥羽北部いきいき「わび-ガラス」出展 |
| | 12/24 | あいおいニッセイ同和損保 梅本さん来室寄付目録授与 |

2016年

- | | |
|------|--|
| 1/12 | 京都市太陽光発電屋根貸し制度運営主体選考
委員会出席 |
| 1/18 | 再生可能エネルギーWG会議に出席 |
| 1/19 | 京都市太陽光発電屋根貸し制度運営主体として選定 |
| 1/20 | 上鳥羽北部いきいきおひさまプロジェクト打ち合わせ
京都府地球温暖化防止活動推進連絡調整会議出席 |
| 1/26 | 上鳥羽北部いきいきおひさまプロジェクト説明会開催
:上鳥羽北部いきいき |

□ 寄付のお願い

おひさま基金への寄付は随時お受けしています。
寄付の方法:ゆうちょ振替をご利用下さい。

ゆうちょ銀行振替口座番号:00930-6-157817
加入者名:きょうとグリーンファンド

会員数	72
正会員	46 賛助会員 23
法人会員	3 2016/1 現在



★2015年4月1日付で京都市から認定NPO法人として再認定されました。
認定NPO法人への寄付は、税法上の特別措置の対象になります。

認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)

きょうとグリーンファンド

〒600 8191 京都市下京区五条高倉角塚町21 事務機のウエダビル206
TEL/FAX ; 075 352 9150 E mail ; info@kyoto gf.org
URL ; http://www.kyoto gf.org (火~金 13:00~17:00)

